

沖養部新聞

第3号 2014年 1月 沖教組養護教員部

日教組九州地区協議会(九フ口) 養護教員部学習会 in 佐賀大会!!

第14回日本教職員組合九州地区協議会養護教員部学習会が2013年12月14日(土)・15日(日)佐賀県嬉野市 和多屋別荘にて開催されました。沖縄からは、14名(役員3 那覇2 中頭7 高校2)で参加しました。開会行事の後、1日目の講演は、俳人のアーサー・ピナードさんによる「原子炉からのクリスマスプレゼント」と題して、講話がありました。

笑いから始まったお話でしたが、劣化した日本語とその深く彫りこんだ意味合いを考えさせられ、原子炉を抱える地域の現状をみんなで共有していこう、要らないことをやらないことが節約(節電)につながる。という事を認識することが出来ました。

その後、日教組養護教員部長の高縁慶子さんより「私たちをとりまく最近の情勢について」の報告がありました。アレルギー疾患への対応や予防接種の見直し、健康診断の今後のあり方、など、中央で話し合われている内容や動きなどを学ぶことが出来ました。



夕方から行われた交流会では、450名あまりの九州会員の熱気で、押されっぱなしの沖縄参加者14名! 各県からの出し物で、沖縄県は、パイナップルダンス(エイサーバージョン)でフィーバーし、講師のアーサーさんも飛び入りで参加するなど**大成功**でした。他県の「いつ準備したの?」と思われる衣装や度肝をぬく演技で、大盛り上がるの交流会! おいしい食事でお腹も満足の後は、ホテル内の足湯につかりながら仲間同士の交流会をして、楽しい夜を過ごしました。

2日目は、各県の現状と課題の報告がありました。各県ともフッ素洗口や組織拡大等様々な課題に取り組んでいました。その後、NPO法人Re:Bitによる講演で多様なセクシュアリティについて学びました。

九フ口学習会は、執務に参考になる学習ばかり! 来年は長崎大会! 未参加者の方は是非ご参加下さい!

第36回 沖縄県養護教諭研究大会

2013年11月20日日本島を皮切りに21日八重山地区、22日宮古地区の3会場で、沖縄県養護教諭研究大会が開催されました。平日水曜日の開催にも関わらず、約180名を超える会員の参加で充実した大会になりました。

午前の部では、熊本大学の吉田道雄先生による「養護教諭のリーダーシップと元気で安全な学校づくり—こころの筋肉運動—」と題して講演がありました。リラックスした雰囲気の中笑いの絶えない講演で、リーダーシップと対人関係、そして日常を「キャッキッ」と過ごす楽しさ大切さを教えて頂きました。参加者からは「何より私たち養護教諭が元気になる講演だった。」との感想が寄せられました。



午後の部は、国頭、島尻地区の実践発表でした。国頭地区からは、瀬喜田小の新里トモ子先生と伊江中学校の伊波みのり先生による「健康教育における保健資料の充実～国頭地区各市町村のとりくみ～」でした。教材教具の工夫、児童が興味関心をもって授業や学校行事に取り組める材料の紹介などがあり「ぜひ活用したい。作成方法などを詳しく習いたい。」等感想がありました。島尻地区からは、知念中の神谷和美先生による「保健学習における医薬品教育の実践～保健体育科教諭・養護教諭・学校薬剤師によるチームティーチング～」と題した発表でした。「養護教諭だけの取り組みと違い、保健体育科との協力や薬剤師との連携がとても参考になった。」「授業実践に至るまでの取り組み、是非参考にしたい。」との感想を頂きました。

2013年度は、島尻地区選出の役員運営でした。今年度の部としての要請活動は、養護教諭の全校配置を基本とした上で、対象校への複数配置について、人事異動交渉の際にも県側に配慮願いをしています。

そして、新組合員の入会もありました。養護教員部組織率は、50%以下で、労組交渉の団体としては、まだまだ充分ではありません。まだ入会していない皆さん、この機会にぜひ組合へ入会検討をお願い致します。よりよい労働環境作りが、子供達へのよりよい教育にもつながります。

次年度は、国頭地区の部運営になります。さらに、よりよい教育・職場環境をめざしていくためにも、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

また、今年度よりこの沖養部新聞が沖教組のHPに掲載されています。今後ともご愛読頂きませうようお願い致します。ありがとうございました。
～ 部担当役員より ～